ISLAM

イスラーム映画祭7

2022.2.19SAT-2.25FRI ユーロスペース

インターゾーン / NHK エンタープライズ / OfficeO. / 新日本映画社（エスパース・サロウ）/ Small Talk Inc. / 日本映像翻訳アカデミー / ムヴィオラ / AP International / Be For Films / Beşiktaş Kültür Merkezi A.Ş
CINETELEFILMS / Ciné. Sud Promotion / Haram Films / Making Of Films / Noori Pictures / Picture Tree International GmbH / Ustura Films / WILD BUNCH INTERNATIONAL / Yosef Baraki

islamicff.com

TIMETABLE

2/19 SAT	11:00 ある歌い女（うたいめ）の思い出 トークセッション：1	14:30 ヌーラは光を追う	16:30 時の終わりまで トークセッション：2	19:20 ソフィアの願い
20 SUN	11:00 ジハード・フォー・ラブ トークセッション：3	13:45 泣けない男たち トークセッション：4	16:50 天国と大地の間で	18:50 花嫁と角砂糖
21 MON	11:00 ソフィアの願い	13:20 アジムの母、ロナ トークセッション：5	16:20 子供の情景	18:20 青い空、碧の海、真っ赤な大地
22 TUE	11:00 泣けない男たち	13:30 天国と大地の間で 上映後 ミニ解説があります	16:30 時の終わりまで	19:00 ラシーダ
23 WED	11:00 ミナは歩いてゆく トークセッション：6	14:30 子供の情景 トークセッション：7	17:20 アジムの母、ロナ	19:15 二つのロザリオ
24 THU	11:00 天国と大地の間で 上映後 ミニ解説があります	13:30 ソフィアの願い トークセッション：8	16:15 ジハード・フォー・ラブ トークセッション：9	19:00 泣けない男たち
25 FRI	11:00 時の終わりまで	13:30 二つのロザリオ	16:00 ヌーラは光を追う	18:30 ある歌い女（うたいめ）の思い出

日によって上映開始時刻が異なりますのでご注意ください。全指定席で、各回１０分前より開場いたします。上映作品が予告なく変更となる場合がございます。また上映素材によっては映像や音声に不具合のある場合がございます。

TALK SESSION

トークセッション 1	19 sat『ある歌い女（うたいめ）の思い出』上映後 **アラブ映画における女性監督の軌跡 ── ムフィーダ・トゥラートリ監督を偲んで**	**ゲスト：佐野光子** アラブ映画研究者
トークセッション 2	19 sat『時の終わりまで』上映後 **映画から知るアルジェリア ── 知られざるその魅力**	**ゲスト：和家麻子** 危機管理コンサルティング会社勤務／アルジェリア滞在歴５年
トークセッション 3	20 sun『ジハード・フォー・ラブ』上映後 **愛のために「たたかう」こと ── イスラームと同性愛の交差点を探って**	**ゲスト：辻大地** 九州大学大学院博士後期課程
トークセッション 4	20 sun『泣けない男たち』上映後 **映画から読み解くボスニア紛争 ── 傷ついた者たちのその後**	**ゲスト：山崎信一** 東京大学非常勤講師
トークセッション 5・7	21 mon『アジムの母、ロナ』、23 wed『子供の情景』上映後 **音楽で知るアフガニスタン ── トーク with ミニライブ**	**ゲスト：ちゃるぱーさ** アフガニスタン音楽ユニット **寺原太郎** インド音楽バーンスリー奏者
トークセッション 6	23 wed『ミナは歩いてゆく』上映後 **一人で始めたアフガニスタン支援の２８年 ── 女性と子どもたちの今**	**ゲスト：西垣敬子** 宝塚・アフガニスタン友好協会代表
トークセッション 8	24 thu『ソフィアの願い』上映後 **映画に見るイスラーム世界のジェンダー変容**	**ゲスト：辻上奈美江** 上智大学総合グローバル学部教授
トークセッション 9	24 thu『ジハード・フォー・ラブ』上映後 **セクシュアリティ、ジェンダー、労働問題** ── 映画が掲げるテーマに私たちは追いついているか？	**ゲスト：松下由美** 映画プレゼンター／通訳／大学講師

動画撮影、録音は固くお断りいたします。ゲストが予告なく変更、またはトークセッションが中止となる場合がございます。

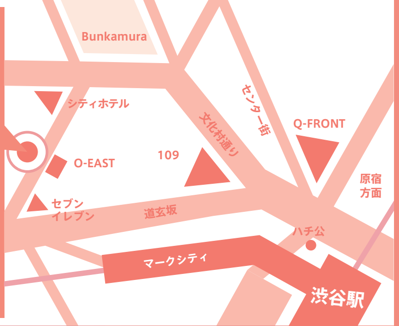
TICKET/ACCESS

一般 1500円　**火曜サービスデー** 1200円
会員・シニア 1200円　**大学・専門学校生** 1200円
高校生 800円　**中学生以下** 500円
※オンラインは900円　※オンラインは600円　前売券の販売はございません

上映日の３日前より各回開始１時間前まで、劇場ＨＰにてオンラインチケット購入（クレジット決済のみ）が可能です。劇場窓口でも同じく上映日の３日前より販売いたします。
http://www.euro-ticket.jp/eurospace/schedule/

オンラインチケットはこちらから

ユーロスペース
EUROSPACE
住所
東京都渋谷区円山町1-5
電話
03-3461-0211
URL
www.eurospace.co.jp



ISLAM
イスラーム映画祭 7

TUNISIA

『ある歌い女（うたいめ）の思い出』

監督：ムフィーダ・トゥラートリ
製作国：チュニジア＝フランス
１９９４年　１２９分　アラビア語 / フランス語

妊娠しているバーの歌手アリヤは、恋人のロトフィが子どもを望んでいないことに傷ついていた。ある日、幼い頃に面倒を見てくれたシド・アリの訃報が届く。彼は１０年前に廃位されたチュニジア王制最後の皇太子だった…。

【解説】チュニジアの独立前夜を王宮で過ごした母娘の物語が、美しい映像と多彩なアラブ音楽とともに描かれます。女性の苦難を描き続けたムフィーダ・トゥラートリ監督は２０２１年２月、ＣＯＶＩＤ-１９により亡くなりました。

上映素材提供：新日本映画社／エスパース・サロウ

TUNISIA　日本初公開

『ヌーラは光を追う』

監督：ヒンド・ブージャマア
製作国：チュニジア＝ベルギー＝フランス＝カタール＝オランダ
２０１９年　９３分　アラビア語

ヌーラは夫のジャメルが刑務所にいる間に離婚すべく、密かに愛しあうラサドとともに手続きを進めていた。しかし、離婚成立を間近にジャメルが突然釈放される。２人の関係が訴えられれば姦通で実刑が科せられることに…。

【解説】イスラームを国教とするチュニジアでは、一夫多妻婚や夫からの一方的離婚が禁じられる一方、婚外の男女関係は罪に問われます。自由を夢見ながらも様々な障壁に直面する女性の苦闘を描いた、緊張感あふれるドラマです。

※本作には性暴力を間接的に描いたシーンがございます。

ALGERIA　日本初公開

『時の終わりまで』

監督：ヤスミーン・シューイフ
製作国：アルジェリア＝UAE
２０１８年　９４分　アラビア語

アルジェリア西部の集団墓地で、遺体のお浄めと埋葬の仕事をしているアリー。ある聖廟参詣の祭りに、姉を亡くして絶望している女性ジョヘルが訪れる。彼女の頼みを聞いているうちに、アリーとジョヘルは親しくなるが…。

【解説】イスラーム信仰の基礎である「六信五行」の六信の一つ、「来世」をテーマに老いらくの仄かな恋模様を絡めた物語です。生や死に対する考え方が時代とともに変わりつつある様子を、独特のユーモアを交えて描いています。

MOROCCO　日本初公開

『ソフィアの願い』

監督：マルヤム・ビンムバーラク
製作国：フランス＝カタール＝ベルギー＝モロッコ
２０１８年　８５分　アラビア語 / フランス語

２０歳のソフィアはある日突然破水し、従妹のリナに付き添われ病院で出産する。しかし、相手が夫でなければ婚外交渉として通報されてしまう。両親にもばれたソフィアは、相手は以前職場で出会ったウマルだと明かすが…。

【解説】未婚のまま子を産む女性の物語を通じて、個人よりも家族が、人権よりも恥や名誉が重んじられる社会の歪みを描いた作品です。モロッコの格差社会や、恣意的で差別的な法制度をも、ひねりの利いた脚本で非難しています。

BOSNIA AND HERZEGOVINA　日本初公開

『泣けない男たち』

監督：アレン・ドルリェヴィチ
製作国：ボスニア-ヘルツェゴヴィナ＝スロヴェニア＝クロアチア＝ドイツ
２０１７年　９９分　ボスニア語

セルビア人、クロアチア人、ボシュニャク人。かつて紛争で心や体に癒えない傷を負った男たちが、シーズンオフのホテルに集いセラピーを受けている。しかし、セラピーが進むにつれ紛争の記憶がよみがえってきた彼らは…。

【解説】１９９０年代のボスニア紛争で傷を負った男性たちの、その後を描いた作品です。集団セラピーを舞台とすることで、紛争の構図がうまく表現されており、過去の記憶に苦しむ彼らの姿は“有害な男性性”を示唆してもいます。

PALESTINE　日本初公開

『天国と大地の間で』

監督：ナジュワー・ナッジャール
製作国：ルクセンブルク＝パレスチナ＝アイスランド
２０１９年　９２分　アラビア語 / ヘブライ語 / フランス語 / 英語

パレスチナ人夫婦サルマとターメルは、離婚するためイスラエルに。だが、ターメルの父の履歴に不明な点があったため、２人は真相を求めて旅に出る。父がターメルの母と出会う前に暮らしていた女性は、ユダヤ人だった…。

【解説】離婚間際のパレスチナ人夫婦が、夫の父親の謎を追い限られた時を共にします。ナザレを過ぎ、道に迷った２人はゴラン高原の境界へも…。その道行きからパレスチナの惨禍が見えてくる、音楽も満載のロードムービーです。

IRAN　日本初公開

『アジムの母、ロナ』

監督：ジャムシド・マームディ
製作国：アフガニスタン＝イラン
２０１８年　８９分　ペルシャ語 / ダリ語

アジムは、母ロナが弟のファルークの家族と一緒にドイツへ密航できるよう手配していたが、ファルークが直前にロナを置いてゆく気であることを知って激怒する。アジムはロナを引き取るが、母の寿命は間近に迫っていた…。

【解説】イランに住む実際のアフガン難民である作者が、同胞たちの境遇に寄り添って描いたドラマです。運命を神に委ねるアジムの敬虔さと、難民生活の苦境ゆえの諦念が重なり胸が痛みます。悲しくも温かな愛に充ちた作品です。

AFGHANISTAN

『子供の情景』

監督：ハナ・マフバルバフ
製作国：イラン
２００７年　８１分　ダリ語

ターリバーンに破壊された巨大石仏の瓦礫が残るバーミヤン。近くに住む６歳の女の子バクタイの願いは学校に通うことだったが、鉛筆とノートを持っていない。彼女は文房具を買うお金を稼ごうと、町で卵を売り始めるが……。

【解説】イラン映画の巨匠モフセン・マフマルバフ監督の次女、ハナ監督の長篇劇映画デビュー作です。幼い少女の冒険を通じて戦争の理不尽を描きながら、ターリバーンのみならず国際社会やイランの体制をも暗に批判しています。

上映素材提供：ムヴィオラ

ALL OVER THE WORLD

『ジハード・フォー・ラブ』

監督：パーヴェズ・シャルマ
製作国：アメリカ＝イギリス＝フランス＝ドイツ＝オーストラリア
２００７年　８１分
アラビア語 / トルコ語 / 英語 / ペルシャ語 / ウルドゥー語 / ヒンディー語 他

ゲイを公表しているイスラーム学者ヘンドリクス、同性愛者弾圧を逃れ難民として暮らすマーゼン、イスラームと同性愛の関係を探るマハとマリアム…。彼ら彼女らはそれぞれ、“愛のためのジハード”に日々取り組んでいる…。

【解説】自身もゲイのムスリムである作者が世界各地をめぐり、信仰とセクシュアリティの間で葛藤する人々を取材したドキュメンタリーです。「聖戦」と訳される「ジハード」は本来、広く「神に近づくための努力」を意味します。

※本作には動物を屠殺するシーンがございます。

TURKEY　アンコール from イスラーム映画祭2015

『二つのロザリオ』

監督：マフムト・ファズル・ジョシュクン
製作国：トルコ
２００９年　８７分　トルコ語 / アラビア語

モスクで礼拝への呼びかけを行う、ムアッズィンの職に就いたムサ。彼はアパートの隣室に住むカトリックの女性クララに恋をするが、告白はできない。ある日ムサは、イスタンブルに長く暮らす古書収集家の老人と出会う…。

【解説】ムアッズィンが唱える礼拝への呼びかけを、アザーンと言います。アジアとヨーロッパを結ぶイスタンブルを舞台にした、切ない恋物語です。伝えたくても伝えられない主人公の気持が、宗教の壁とさりげなく重ねられます。

ALGERIA　アンコール from イスラーム映画祭6

『ラシーダ』

監督：ヤミーナ・バシール＝シューイフ
製作国：アルジェリア＝フランス
２００２年　９４分　アラビア語 / フランス語

ある朝、過激派の若者たちから学校に爆弾を仕掛けるよう強要され、拒否したために銃で撃たれた教師のラシーダ。一命を取り留めた彼女は、母親とともに郊外の村へ引っ越し、療養しながら再び地域の学校で働き始めるが…。

【解説】凄惨を極めた１９９０年代の内戦を題材に、アルジェリア映画で初めて女性の監督が製作した作品です。主人公母娘を中心に、内戦下の残酷な日常を生きた庶民、中でも女性や子どもたちの顔の一つ一つが丁寧に描かれます。

AFGHANISTAN　アンコール from イスラーム映画祭6

『ミナは歩いてゆく』

監督：ユセフ・バラキ
製作国：アフガニスタン＝カナダ
２０１５年　１１０分　ダリ語

アルツハイマー病の祖父と、麻薬中毒で働かない父親を養うため、学校に通いながら路上で物売りをしている１２歳のミナ。彼女は、自分の元締めでもあり、父親に麻薬を売っているバシールに取引をやめるよう掛けあうが…。

【解説】母親を亡くし、カーブルの路上で物売りをしながら家族を養う、一人の少女の自発的な生き様を描く物語です。彼女の目を通じてアフガニスタンの厳しい現状が語られます。作者自らカメラを携え、短期間で撮影されました。

※本作には羊を屠殺するシーンがございます。

IRAN　アンコール from イスラーム映画祭3&5

『花嫁と角砂糖』

監督：レザ・ミルキャリミ
製作国：イラン
２０１１年　１１４分　ペルシャ語

５人姉妹の末っ子パサンドの婚約式の準備が始まる。海外に暮らす婚約者は不在のままだが、姉たちは祝宴を開くために大忙し。パサンドの結婚に反対していた伯父もようやくそれを受け入れ、黙々と角砂糖を作っていたが…。

【解説】古都ヤズドを舞台に、婚礼の祝いに集まった大家族の悲喜こもごもを描く群像劇です。大いなる死生観のもとで、様々な人生を背負って生きる人々の心情が丁寧に綴られます。伝統的な家屋や家庭料理など色彩も鮮やかです。

INDIA　アンコール from イスラーム映画祭6

『青い空、碧の海、真っ赤な大地』

監督：サミール・ターヒル
製作国：インド
２０１３年　１３７分
マラヤーラム語 / 英語 / ヒンディー語 / オリヤー語 / アッサム語 / ナガ語 他

ケーララ出身のムスリム青年カシは、突然姿を消した恋人アシの故郷ナガランドを目指し、友人のスニと数千キロの旅に出る。途中、夜盗に襲われ、バイカー集団に助けられた２人は、彼らに誘われるままプリーに立ち寄る…。

【解説】インド南西のケーララから北東のナガランドまで、恋人に会うための旅を通じて自身を見つめてゆく若者の姿が、美しい自然を背景に描かれます。多宗教、多民族、多言語のインドを体感する広大な青春ロードムービーです。